

看護闘争ニュース

NO.30

2003年 9月11日

2003 秋・看護闘争全国交流集会開催

看護師増員署名 メッセージ運動 秋の「大運動」を！

9月2~3日伊東市において、2003 秋・看護闘争全国交流集会を開催しました。7 全国組合 37 県医労連から 190 名の参加でした。集会では、「看護師等増員国会請願署名」と「看護師のメッセージ運動」を柱に、来春の診療報酬改定に看護師配置基準「1対1」「1.5対1」をもちこませ、職場の増員の財政的保障をつくることをめざし、「国の法改正にむけた運動」と事故を防止し看護職場の働くルールの確立をめざす「職場改善の運動」を、統一して運動することを提起しました。

「看護職場の事故防止全国調査」の結果報告を行いました。9月1日に記者発表し、マスコミ関係者からも耐用年数を超えた機器がいまだに使用されているなどの実態に注目が集まりました。安全管理委員会など、体制や形の上では整備が進みつつありますが、看護職員の大幅増員などマンパワー対策や、事故防止の安全対策機材など、「安全のコスト」の保障が遅れている状況が明らかになりました。

「それでも職場は変えられる わたし達のチャレンジ!」として、職場からのたたかひの報告が4組織から行われました。経営効率第1主義で、定昇ストップ・一時金カット・一方的協定破棄など、「合理化」の嵐が吹き荒れるもとでも、たたかえば要求は実現することが確認され、参加者を励ました。

1日目に募集した「職場改善 10ヶ条」に60を超える標語が寄せられ、闘争委員会では、うれしい悲鳴の中、「看護職場の事故をなくす10ヶ条」を決定しました。今後この標語をポスターにしながら、院内の世論作りとあわせて職場改善を行っていくことが確認されました。

当日は、「2002 年度夜勤実態調査結果」と「准看護師アンケート中間報告」を冊子にして報告しました。



厚労省「第3者機関」設置の方針を固める

厚労省は、医療安全対策の一環として、04 年度に医療事故情報の収集などを行う「第3者機関」を設置する方針を固めました。経費として、04 年度予算概算要求で1億5000万円を盛り込みました。

「第3者機関」では、医療事故の発生予防や再発防止にむけて、医療機関などから幅広く医療事故の情報を収集し、事故情報を総合的に分析した上で、分析結果を医療機関などに情報提供するとしています。

「第3者機関」の設置は、同省の「医療にかかる事故事例情報の取り扱いに関する検討部会」が提言したもので、国立病院・療養所、大学病院本院に対して、「第3者機関」に事故情報の報告を義務付けるよう要請しています。現在は、同検討部会に「事故報告範囲検討委員会」で、報告を義務付ける「重大な事例」の範囲と事故報告様式を検討しています。

日本医労連は、医療事故が続発しはじめた当初より、「医療・看護事故の再発防止のための緊急提言」を行い、7つの改善を国に求めました。その中で、「国・自治体と医療関係者が協力して、医療事故の事例を集積・分析し、今後の事故防止の対策を確立し、必要な情報を国民に提供すること」を提案しました。

その具体化として、2001年からとりくんだ「安全でゆきとどいた看護の実現を求める国会請願署名」の1項目として、「第3者機関（仮称：医療事故防止委員会）」の設置を求めてきました。

その条件に、公平性の保たれる独立した機関、総合的な専門性を（医療・看護関係者だけでなく、ヒューマンファクターや心理学、人間工学などの研究者など含む）とともに国民性を持った機関、調査と対策勧告（医療機関や行政、メーカーなどへの改善勧告）の権限を持った機関、公開性が保障されること、常設機関であること、の5項目を満たしたものを提唱してきました。

要求して、3年がかりの運動でしたが、やっと具体的動きになってきました。内容を、わたしたちが求める総合的な事故防止の「第3者機関」にしていくことが重要になっています。

看護職場の事故をなくす10ヶ条

- 増員で ゆとりと安全とりもどそう
- なくせサービス残業 つくるな過労死
- その疲れとって守ろう いのちと安全
- しっかり休養 バッチリ頭脳
- 危ないよ 割り込み業務は 事故のもと
- 聞いて 見て 注意し合える気持ちよさ
- 話せる職場が事故防ぐ
- 規則と手順 決めて まもれる環境を
- 口頭指示は事故のもと 緊急以外は文字にして
- 薬の間違いなくそう 類似薬品のいっそうを
- 機器の耐用年数切れなくそう
- 安全性と使いやすさを第1に
- インフォームドコンセント 患者とともに事故防止

看護職の総結集を！（主な中央行動の日程）

11月18日

11.18 政府交渉

11月19日

11.19 もうがまんできない！

看護師 怒りの集会

11月20日

厚生労働省前座り込み

11月29日 安全・安心の医療実現 職場改善交流集会